

概要版

岐阜市 Gifu City Green Master Plan

みどりの基本計画

2022

～清流と深緑の山々に恵まれ、緑とともに暮らす快適都市・岐阜～



2022年3月

岐阜市



緑の将来像

清流と深緑の山々に恵まれ、 緑とともに暮らす快適都市・岐阜

長良川の清流と金華山、市街地を取り囲む山々の緑など、豊かな自然環境の保全と市街地の緑化推進、公園の再生等による緑の質的向上を図り、緑の持つ多機能性を活用することにより、賑わいや潤いのある快適な都市を目指します。



岐阜市の緑

本計画の緑は、樹木や草花等の植物のほか、水辺、公園、広場等の緑被地や、文化や歴史など、多様な要素が含まれます。

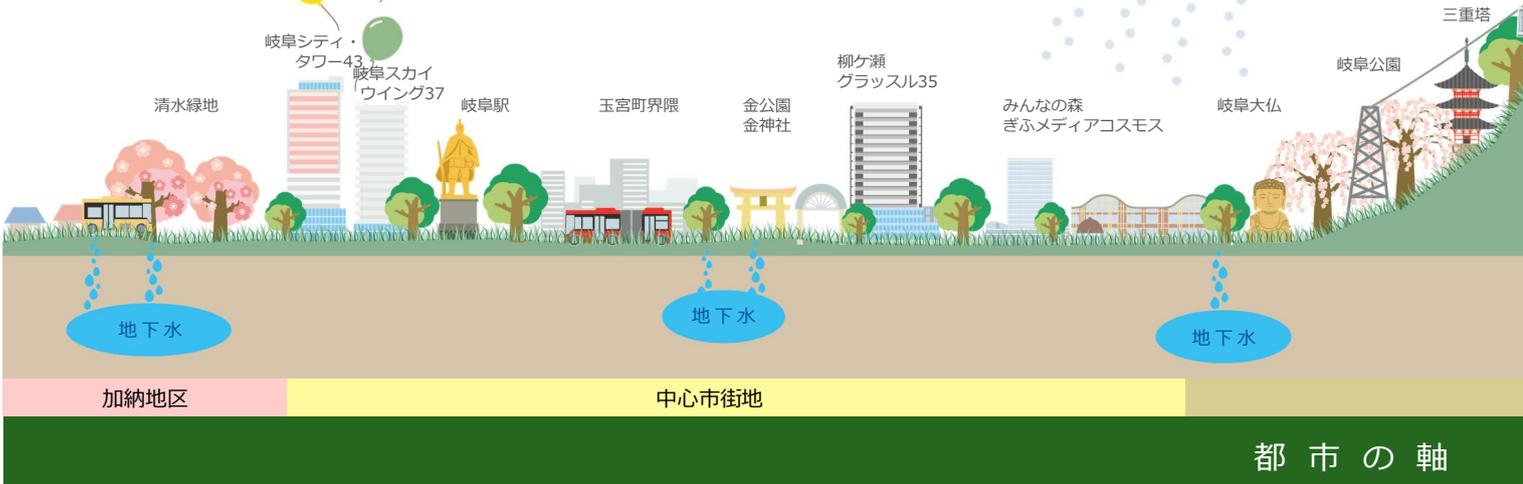


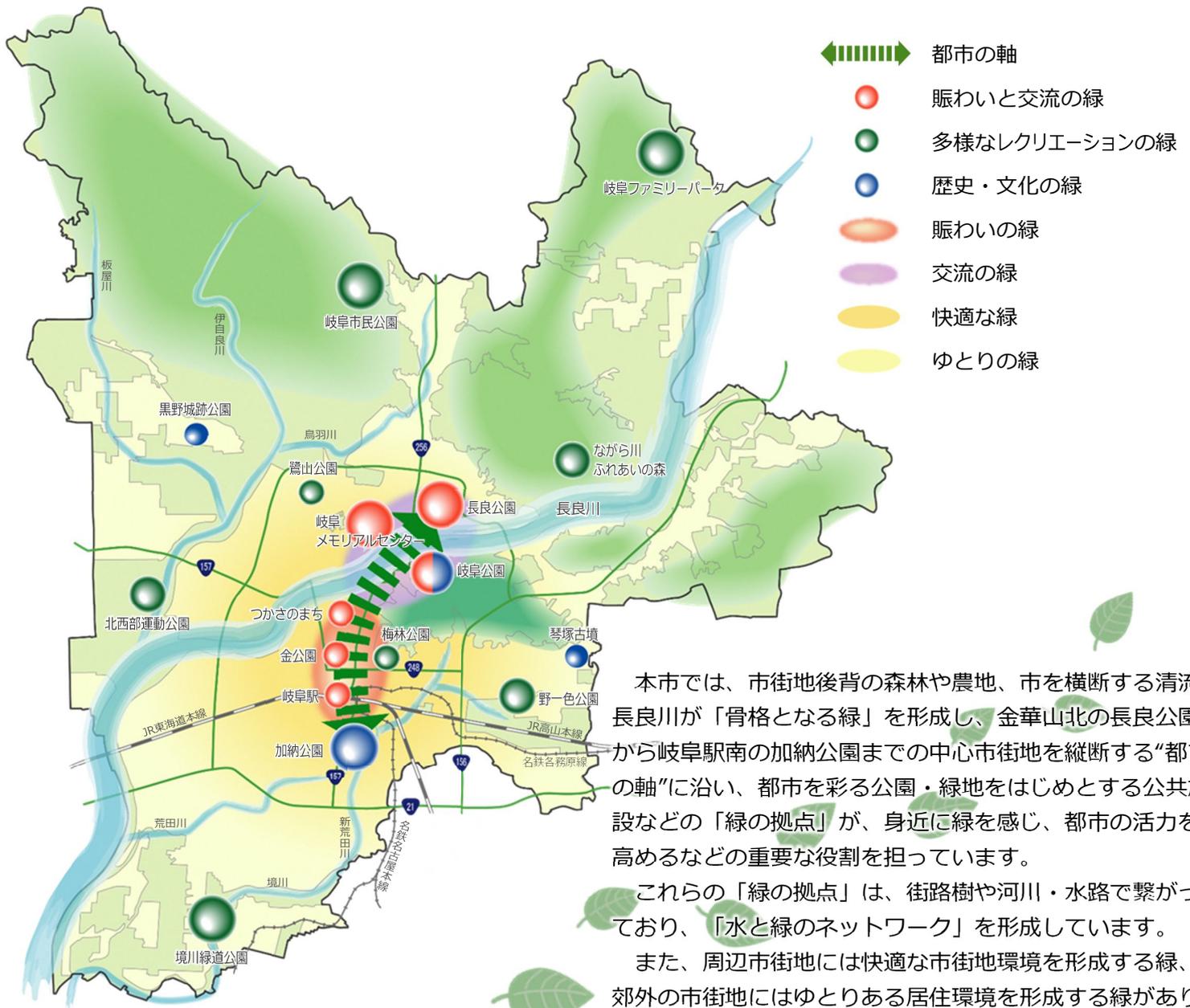
緑のまちづくりの目標

令和17年(2035年)を目標年次として、岐阜市都市計画マスタープランと整合しながら、緑のまちづくりを推進します。対象区域は市の全域(20,360ha)とし、将来人口を36万8千人と想定します。

目標	現況値	目標値
都市の緑 (市街化区域)	約 450 ha	約 470 ha
緑視率	32.4% [※]	現況値以上
都市公園の 一人当り面積	9 m ² /人	10 m ² /人
市民による 緑化推進活動	約76%	80%以上 (公園管理に関わる地域団体)

※緑視率の現況値は、緑化重点地区において測定した平均値としています。



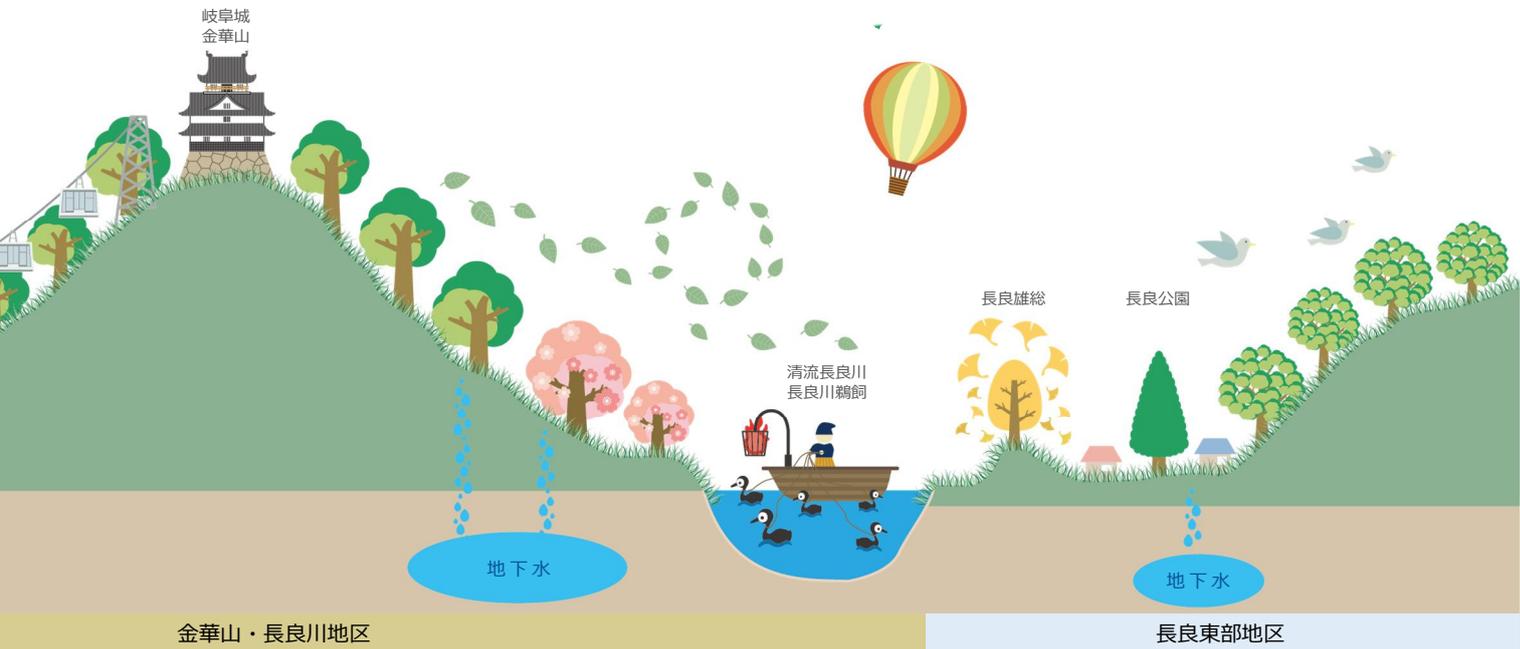


- 都市の軸
- 賑わいと交流の緑
- 多様なレクリエーションの緑
- 歴史・文化の緑
- 賑わいの緑
- 交流の緑
- 快適な緑
- ゆとりの緑

本市では、市街地後背の森林や農地、市を横断する清流長良川が「骨格となる緑」を形成し、金華山北の長良公園から岐阜駅南の加納公園までの中心市街地を縦断する“都市の軸”に沿い、都市を彩る公園・緑地をはじめとする公共施設などの「緑の拠点」が、身近に緑を感じ、都市の活力を高めるなどの重要な役割を担っています。

これらの「緑の拠点」は、街路樹や河川・水路で繋がっており、「水と緑のネットワーク」を形成しています。

また、周辺市街地には快適な市街地環境を形成する緑、郊外の市街地にはゆとりある居住環境を形成する緑があり、地域の特性に応じた役割や効果を発揮しています。





緑の基本計画とは

緑の基本計画は、都市緑地法に規定される「市町村の緑地の保全及び緑化の推進に関する基本計画」として定めるもので、“緑の目標”、“緑の方針”、“緑の施策”などの事項を総合的かつ計画的に実施するための指針となるものです。

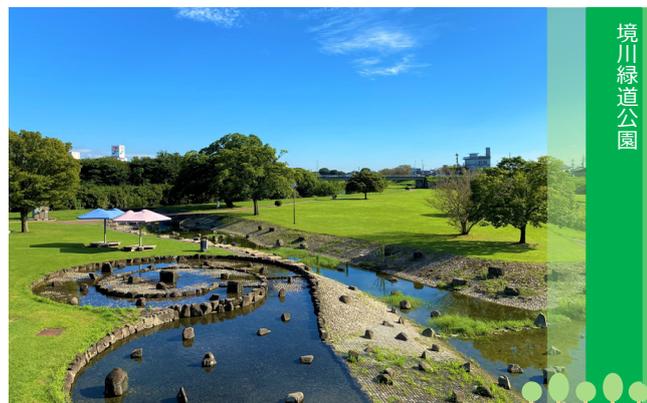
本市ではこの計画に基づき、豊かな緑の保全、緑化の推進及び都市公園の適正な維持管理等を行うことで、緑を活かしたまちづくりを推進しています。



緑の定義

本計画の「緑」は、樹木や草花等の植物のほか、樹林地、草地、水辺、公園、広場等の緑被地やオープンスペース、動植物などの生きものが生息し、自然と人とが共生する環境やその恩恵、人との関わりによる文化や歴史等、多様な要素を「緑」とします。

緑は私たちが快適で安全な生活を実現する上で重要な役割を担っています。



計画の対象区域

本計画は、岐阜市の全域を対象区域としています。長良川の清流と金華山、市街地を取り囲む山々の緑、中心市街地、まちを緑でつなぐ街路樹など、市全域へと緑が広がり、緑豊かな岐阜の財産を将来へと引き継いでいきます。



計画の期間

本計画の期間は、改定から概ね15年間とします。計画期間中は計画の進捗管理を行い、関係法令や関連計画の改正、社会情勢の変化や新たな課題への対応など、必要に応じて計画期間内に本計画の見直しを行います。



緑の機能

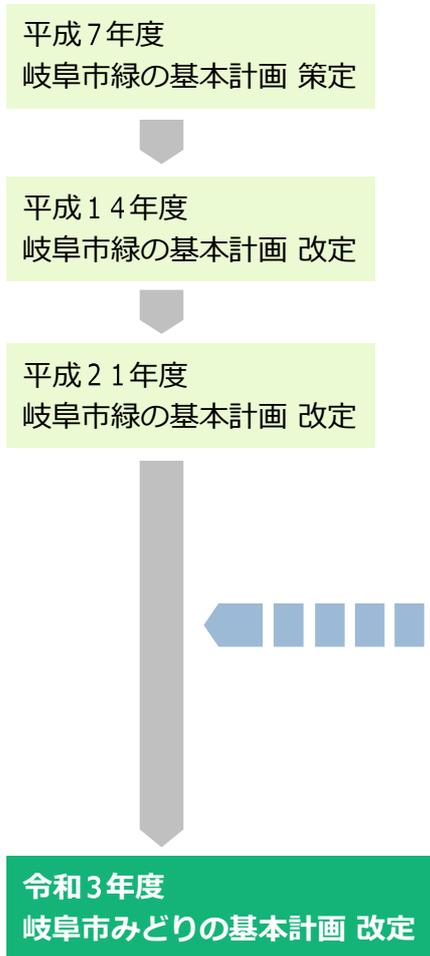
本計画では、緑の機能を大きく4つに整理し、課題解決に向けた取組に活用していきます。

緑の機能	役割
環境保全	緑は、地球温暖化の防止やヒートアイランド現象の緩和などの環境負荷の低減機能のほか、様々な生き物の生息空間となるなどの生物多様性を支えています。
レクリエーション	緑は、運動やスポーツの場として、私たちの健康増進に資する機能のほか、自然とふれあうことで子育てや環境教育にもつながっています。
防災	緑は、災害時における避難路や避難地として都市の安全性を向上させるほか、公園・広場や樹木などの植栽は、火災発生時の延焼遮断効果も有しています。
景観構成	緑は、良好な市街地を形成する緑地、社寺境内林などの郷土景観を形づくる緑地、市街地内のランドマークやシンボルとなる緑地など、まちに彩りを添え、まちの印象を向上させています。



改定の経緯

本市では、平成7年度に「緑の基本計画」を策定して以降、関係法令の改正や社会情勢の変化に対応しながら改定を進めています。



- 平成27年度
- 第二次国土形成計画 閣議決定
グリーンインフラの取組み
 - 都市農業振興基本法 制定
農と住の調和したまちづくりの方針
 - 持続可能な開発のための2030アジェンダ
持続可能な開発目標 (SDGs)
- 平成28年度
- 岐阜市立地適正化計画 策定
コンパクト・プラス・ネットワーク
- 平成29年度
- (3期目) 岐阜市中心市街地活性化基本計画 認定
エリアの空間需要を喚起し、投資が起こる
持続可能なまち
 - 都市公園法 改正
管理運営の民間活力導入方針
 - 都市緑地法 改正
公園施設の適正な維持管理の方針
- 令和元年度
- 岐阜市センターゾーンの未来風景 策定
- 令和2年度
- 都市再生特別措置法 改正
「居心地が良く歩きたくなる」空間の形成
 - 岐阜市農業振興ビジョン 策定
中長期的な視点に立った農業振興



市内農地



市内都市公園



持続可能な開発目標 (SDGs) とは

平成27年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に記載された2016 (平成28) 年から2030 (令和12) 年までの国際目標です。持続可能な世界を実現するための17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の誰一人として取り残さない (leave no one behind) ことを誓っています。SDGsは発展途上国のみならず、先進国自身が取り組むユニバーサル (普遍的) なものであり、日本としても積極的に取り組んでいます。



グリーンインフラとは

「グリーンインフラ」とは、社会資本整備や土地利用等のハード・ソフト両面において、自然環境が有する多様な機能を活用し、持続可能で魅力ある国土・都市・地域づくりを進める取組です。本計画においても、CO₂吸収源対策、生態系の保全、雨水の貯留・浸透等による防災・減災、健康でゆとりある生活空間の形成、SDGsに沿った環境と経済の好循環に資するまちづくりなど、様々な地域課題に対応しながら、緑地の保全や緑化の推進に取り組んでいます。





緑のまちづくりの基本方針

1 緑の継承

長良川、金華山に代表される自然、歴史・文化・農の緑の継承

清流長良川や山頂に岐阜城を頂く金華山の風景は本市のシンボルともいえるかけがえのない財産であり、緑の骨格として保全するとともに後世に継承します。また、市域には百ヶ峰をはじめとする山並みや、水量豊かな河川、農地など、豊かな緑が存在しており、継続的な保全を図ります。

社寺境内林など歴史・文化を伝える緑も地域の個性を彩る貴重な財産であり、適切な保全、継承に努めます。

森林の保全と活用

河川・水路の保全と活用

貴重な自然や歴史・文化の緑の保全

農地の保全と活用



清流長良川と金華山

2 緑の質的向上

快適な生活環境を支える緑の質的向上と再生

市民の快適な暮らしと密接な関係にある都市公園は、多様なレクリエーションニーズへの対応や防災活動拠点としての機能強化など公園が有する機能向上と再生を図ります。

自然環境が有する多様な機能（グリーンインフラ）を活用し、美しい景観形成や沿道環境の保全、快適な公共空間の創出など緑の質・機能向上に努めます。

多様なレクリエーション需要への対応

水と緑のネットワーク形成

市街地緑化の推進



岐阜ファミリーパーク

3 緑の活用

賑わいと交流を引き出す緑の活用

中心市街地緑化重点地区では、公共施設の再整備や市街地再開発事業をはじめとする都市開発とともに、賑わいを創出する緑づくりに努めます。

緑の拠点となる主要な公園緑地や公共施設を街路樹や河川・水路などで繋ぐことで「水と緑のネットワーク」を形成するとともに、“都市の軸”として多様な人々が楽しめる空間づくりを推進し、市民の緑への関心の高まりや緑の活用を啓発します。



長良公園

居住者の憩い・安らぎ・コミュニティの形成

緑に関する情報発信や緑化活動の推進

中心市街地における賑わいと交流の緑づくり

緑のまちづくりを支援する仕組みづくり



緑化重点地区の方針

緑化重点地区は、本市のなかでも重点的に取り組むべき“都市の軸”の形成と、地域生活拠点などの形成に資する“地域の身近な公園緑地”の整備推進を目的としています。

“都市の軸”には、各々の特色に応じた4つの緑化重点地区を設定しています。



住民の参画と協働による 緑のまちづくりの実践

長良公園を中心に、市民参画による緑化や周辺森林の維持管理を進めるなど、市民協働の緑化整備を行い、居住環境機能や緑化意識の向上を図ります。



長良東部緑化重点地区



長良川・金華山の自然や歴史 と調和した緑のまちづくり

岐阜の歴史文化を活かし、気軽に訪れ、ふれ合い楽しんでもらう、まちなか歩きが楽しめる観光地区にふさわしい緑化整備を行います。



金華山・長良川周辺緑化重点地区

快適にまち歩きを楽しめる ネットワークと緑化拠点づくり

魅力的なまちなみ景観の創出や都市型気候の緩和、防災安全性の確保など、多くの人々が訪れ、働き、住みたくなるまちづくりを進めるため、多くの緑を公共空間や民有地に増やしていきます。



中心市街地緑化重点地区

中山道や加納城跡の 歴史・文化を活かした ネットワークと緑化拠点づくり

城下町や中山道などの街道がある宿場町・加納地区の歴史的、文化的資産を加納公園と清水緑地を中心にプロムナードとして結び、水と緑を活かした緑化整備を進めていきます。

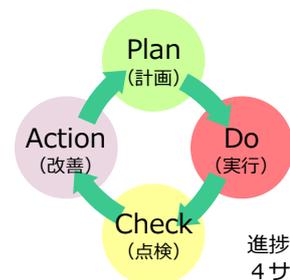


加納緑化重点地区



計画の進捗管理

緑の基本計画を推進していくために、Plan（計画）、Do（実行）、Check（点検）、Action（改善）の4サイクルで計画を推進します。点検、改善時期は関係法令や関連計画の改正等に応じて適宜行います。



進捗管理の
4サイクル



